

長野県実行委 行動スタート

広げよう
2000万署名

共同してすすめよう

長野県で戦争法廃止の2000万署名を推進する実行委員会が8日、署名行動をスタートしました。

実行委員会は11月に発足し、政治的立場の違いを超えて戦争法案に反対する一点で県民大集会を開いてきた6団体（憲法9条を守る県民過半数署名をすすめる会、戦争させない1000人委員会・信州、県護憲連合、県憲法会議、県労組会議、

県労連）が事務局団体となつています。長野駅前では8日昼、6団体から50人が参加し、横断幕を掲げ、ピラを配り、戦争法廃止の署名を呼びかけました。1時間余りで2000人の署名が集まり、募金も寄せられました。署名した男性は「終戦時は10歳。近所では父ちゃんや兄ちゃんが出征し帰らなかつた。あんなことは繰り返してはいけない」と。女性には「自衛隊に知り合っている。どこまで行かされるか心配」と語りました。

参加者は「立場の違いを超え、励まし合って、それぞれの団体の署名目標を進めたい」と語りました。ママは戦争しないと決めた実行委員会などのメンバーが、集会后パレードの後、署名行動に合流しました。今後、県下各地域で署名の共同行動を広げていく予定です。



2000人の署名が集まった11日8日、長野駅前

12/19
赤旗